



## 父からの手紙

栞 玉 娜  
LUAN YU NA

私は半年前に実習生になりました。本当にうれしかったです。なぜうれしいかという日本へ来てからいろいろな困難を乗り越えて健康で快適に過ごして二年目になりました。今は、生活も勉強も仕事もほとんど順調にしています。特に今年、日本語能力試験2級に合格したことが日本語の勉強に一層の励みになりました。励みと言うと、私は父を思い出しています。以前、私は何かあった時は母に相談していましたから父との間に距離があったと思っていました。しかも、父は小さいころから教育に厳しかったですから私はあまり好きではありませんでした。でも今は変わりました。

日本に来たばかりのころ、日本語での会話が大丈夫と思いきや全然通じませんでした。毎日仕事が終わってから一生懸命日本語を勉強しました。その時会社で私は治具はめの仕事をしていました。全部手作りです。日本へ来る前はずっと検査の仕事をしていましたのでそんなことはとても苦しかったです。毎日指の関節が痛くて手が腫れてしまいました。そのうえ、日本語がうまく話せなかったのが「何で日本に来たの」とか「中国へ帰りたい」とかよく思っていました。その時はすごく悩みました。毎晩両親の優しい笑顔思い出すと思わず涙がこぼれてきました。

ある日、突然父から手紙をもらいました。そ

の中には「目におまえの笑顔が浮かび、耳に朗らかな笑い声が聞こえてきます。」と書いてありました。ここまで見てびっくりしてしまいました。そんな優しい言葉が本当に父が書いたものか、信じられないです。「おまえの仕事や生活が順調だということを聞いてパパとママはうれしくて安心しています。実は、両親と離れて外国で仕事するということはとても大変です。パパは知っています。何かあったら黙らないで家族に相談しなさい。おまえに良いアドバイスや意見を言ってあげられるかもしれないよ。おまえは一人ではなく、パパやママはずっと見守っています。仕事や日本語は一日でうまくいかないものですよ。がんばる態度が大切です。その態度が運命を決めますよ。困難に負けることなく積極的に、あきらめることなく自信を持って心から楽しく仕事をして下さい。中国の諺に「人間は高く立てれば遠く見えます。遠く行ければ広く見えます。」今おまえはそれを実践しているのでしょうか。おまえのすてきな将来のためにがんばって下さい。私の最愛の娘へ」

父の手紙は、私に勇気と希望を与えてくれました。それからの私は、いろいろな不満を言わなくなりました。「何で日本に来たの」それは、すてきな将来のために。そして「帰りたい」ということは考えないです。今私は後悔したくないですからこのチャットをとらえていきたいと思っています。

今私は、事あるとき父からの手紙を読み返しています。その時いつも勇気と希望をもらい励みになっています。

・区 分 技能実習生  
・国 籍 中国  
・職 種 塗装  
・受入れ企業 株式会社シー・ティー・シー  
・受入れ団体 経営研究会協同組合